

あゆみ ~挨拶・友情・未来~



『特別の教科 道徳』

◆父との約束（11/14 実施）の生徒の振り返りより



・松井選手はとても謙虚だと思った。自分の心の在り方は、とても大事だと感じた。「悪口を言っても野球は上手にならない」という考え方には、なるほどと思った。これからは、自分も視野を広くして、責任をもって謙虚な心をもつようにしたい。

・結局、実行できないのは、自分がしていないだけだと思った。するしかないか、自分次第なのに、色々な物のせいにしたらダメだと思った。僕も謙虚に行動したい。

・「悪口を言っても野球がうまくなならない」という松井選手の言葉に感銘しました。計画が実行できる時とできない時は、自分の心の中でどれだけ

強く思っているかや、その先について考えているかで実行することができるのではないかと思います。自分の言動についてくる責任をしっかりと生きていきたいです。

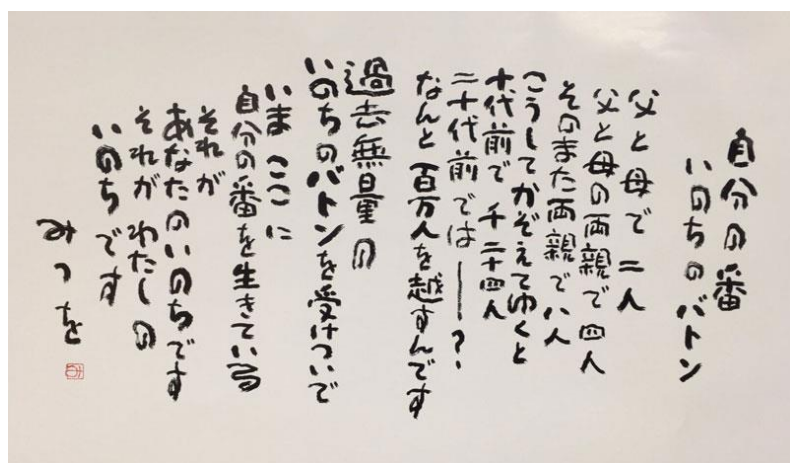
・松井選手は、誰よりも謙虚に生きていると思った。悪口を言わないのは、父に言われたからではなく、自分と真剣に向き合っているからだと思った。僕も松井選手ほどとは言わないけれど、少しでも謙虚に生きたいと思った。

『いのちのせんせい』 ◆講演（11/22 実施）

子どもたちに、自分の体験を通して生きることの意味やいのちの大切さ等の心を揺さぶる話を語ってもらうため、常に「生」や「死」に直面している職業の方を「いのちのせんせい」として県教委が派遣している事業です。今年度は、助産師の元木さんが来校され、生徒たちにわかりやすく、命の誕生までの道のりや命の連続性についてのお話をしてくださりました。今回は、先生が最後に紹介された『いのちのバトン』の引用元の相田みつをさんの詞を掲載しておきます。



【胎児の人形に触れている様子】



『“弁当の日”の 竹下和男先生が やってきます！』

12月7日（土）のオープンスクールの親子セミナーに、“弁当の日”発案者の竹下和男先生が講演に来られます。弁当づくりという取組から、子どもたちは感謝の心を知り、自己肯定感が育まれています。失敗の中から多くを学び、生きる力を身に付けています。大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思えるようになっていきます。家族団らんが増え、家庭に笑顔があふれるようになっていきます。（『弁当の日』HPより）12月10日（火）は、今年度初の「弁当の日」があります。講演会でのお話をよく聞いて、自分たちの成長を実感し、家族の絆が深まる弁当づくりにしていきましょう。

を身に付けています。大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思えるようになっていきます。家族団らんが増え、家庭に笑顔があふれるようになっていきます。（『弁当の日』HPより）12月10日（火）は、今年度初の「弁当の日」があります。講演会でのお話をよく聞いて、自分たちの成長を実感し、家族の絆が深まる弁当づくりにしていきましょう。